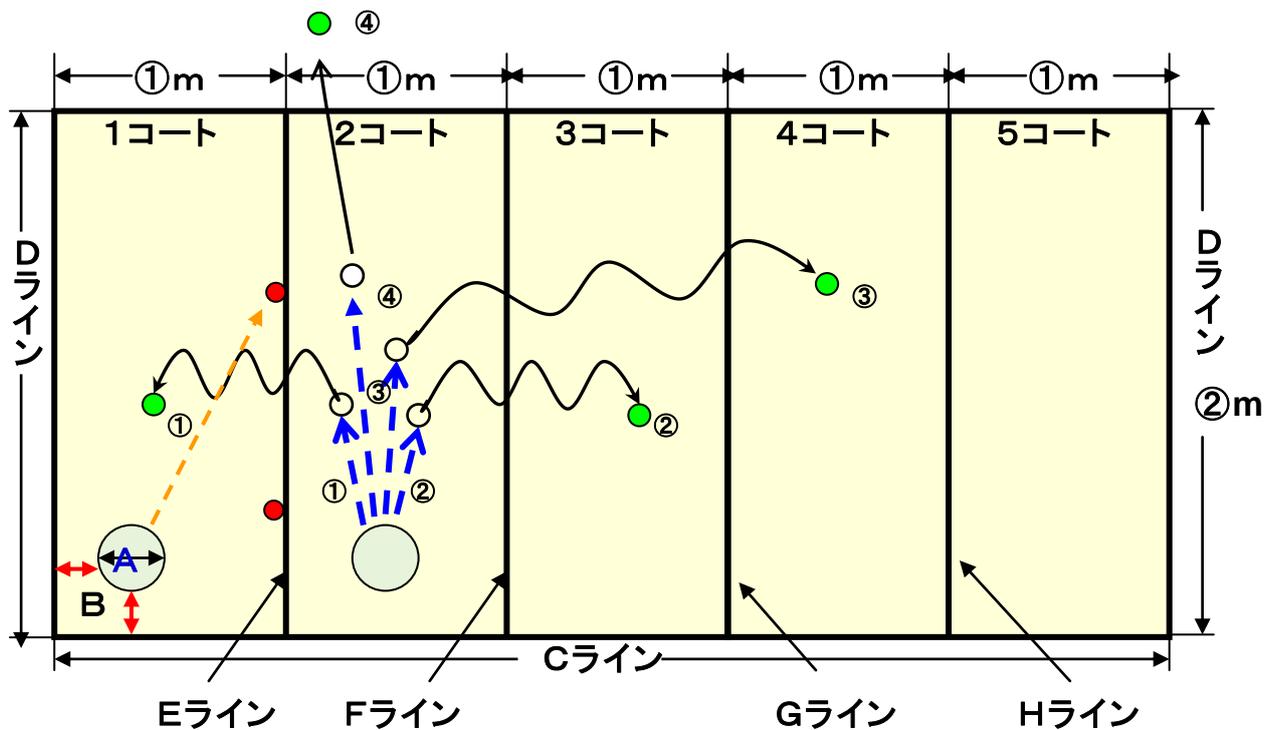


ペタンク公式競技規則

練習問題集



1)、図を見て、問題について答えて下さい。(通常のコートです。)



(1)、次の各文はコートに関する問題です。

()に適切な数字を記入または○をつけて下さい。

- 1、通常行うコートの大きさはそれぞれ幅①()m、長さ②()mとする。
- 2、サークルAの大きさは()cmから()cmする。
- 3、サークルAはラインからB()m以上離さなければならない。(時間制の場合)
- 4、2コートから見た場合、コートラインはどのラインをさすのかアルファベットに○をつけなさい。(得点制の場合) (Cライン Dライン Eライン Fライン Gライン Hライン)
- 5、2コートから見た場合、エンドラインはどのラインをさすのかアルファベットに○をつけなさい。(得点制の場合) (Cライン Dライン Eライン Fライン Gライン Hライン)
- 6、2コートから見た場合、失格のラインはどのラインかアルファベットに○をつけなさい。(得点制の場合) (Cライン Dライン Eライン Fライン Gライン Hライン)
- 7、2コートで試合中にビュットやボールが他のコートへ移動した場合、失格になるコートはどのコートですか。(得点制の場合) (Dライン Eライン Fライン Gライン Hライン)
- 8、2コートから見た場合、時間制を用いた場合、失格のラインはどのラインか。(Cライン Dライン Eライン Fライン Gライン Hライン)
- 9、最小のコートの大きさはそれぞれ幅①()m、長さ②()mとする。
- 10、時間制を用いた場合、①・②・③・④にあるビュットがそれぞれ●の位置まで動いた場合、無効となるビュットはどれですか○をつけなさい。(①・②・③・④)
- 11、通常の場合を用いた場合(得点制の場合)、①・②・③・④にあるビュットがそれぞれ●の位置まで動いた場合、無効となるビュットはどれですか○をつけなさい。(①・②・③・④)

(2)、下記の文で正しいものに○印、誤りのあるものには×印を()に記入しなさい。

- 1、() サークルAからビュット●まで7mありましたが、コートに接しましたので投げなおしと言われました。
- 2、() 得点制の場合で、2コートで試合中にビュットが4コートまで飛んでしまったので無効にした
- 3、() コートラインからビュットやボールが出た場合、全て無効になる。
- 4、() エンドラインをビュットやボールが出た場合、全て無効になる。
- 5、() エンドライン上でボールが止まったので、無効ボールとして取り除いた。
- 6、() エンドラインが木枠で作られており、ボールが木枠にぶつかり跳ね返ってきたボールがビュットより遠いのでそのままにしておいた。
- 7、() ビュットが失格ラインを超えたときに、両チームにボールが残っていたので残りボールを点数に加えた。
- 8、() ビュットの投げなおしが両チームとも3回失敗し、再度投げなおしになったのでサークルを移動した。
- 9、() ボールの投球の際に、両手でボールを投げたら反則といわれ、そのボールが取り除かれた。
- 10、() 足腰が弱くなったので相手チームの投球の際、サークルから50cm離れた場所で自分の投球の番を待っていた。

2)、次の()にあてはまる言葉を下記欄より選び、競技規則の条文を完成させなさい。

- ①、ポイントの測定は、最後にボールを投げた()または同一チームの他のプレーヤが行う。

また、測定の結果に意義あるときは、()の判定を仰ぐことができる

- ②、試合の取り組みが発表されてから対戦チームがいない場合は15分後に相手に1点が加点されるが、それ以後()分ごとにペナルティとして()点が加点される。下から当てはまる言葉を選んでください。

失格、9、審判、5、プレーヤー、10、責任、1、3

3)、コートに関する、質問に答えて下さい。

(1)、次の各文はコートに関する問題です。()に適切な数字を記入しなさい。

- 1、フリーコート(コートラインを用いない場合)で試合を行う場合、ビュットがサークルから()m以上または3m以内に動いた場合無効になる。
- 2、サークルはエンドラインからから時間制の場合()m以上離れたところに描きます。
- 3、コートの制約がない場合、他のサークルから()m以上離なしてサークルを描く。

(2)、下記の文で正しいものに○印、誤りのあるものには×印を()に記入しなさい。

- 1、() 試合中にコート内に小石があったので、取り除いて試合を続けた。
- 2、() 試合中にビュットが木の葉や紙くずなどに隠れて見えなくなったので取り除いた。
- 3、() 時間制の試合中でビュットが境界線を越えて他のコートに入ったので、無効扱いをした。

- 4、()ビュットまたはボールがエンドラインを超えた時点で無効となるが、少しでも接していれば有効である。
- 5、()コートに関しては、最小は決まっているが、21m×10mのコート使用可能です。
- 4)、下記の文で正しいものに○印、誤りのあるものには×印を()に記入しなさい。
- 1、()公式大会を開催するにあたってペタンクのボールは、国際ペタンク・プロバンスル連盟が公認したもの意外でも使用可能である。
 - 2、()テット・ア・テットでは各プレーヤーの持ちボールは3個とする。
 - 3、()トリプレットで国際連盟の公認ボールで違う種類のボール(2個)使用してもよい。
 - 4、()ビュットは木製または合成樹脂で自由に作れる。
 - 5、()ボールは金属製でなくともよい。
 - 6、()ビュットは着色してはいけない。
 - 7、()いかなるときも競技中にボールを替えることができる。
 - 8、()ボールやビュットが2つに割れたときは、一番大きい一片を有効とし速やかに代替品と取り替える。
 - 9、()ペタンク競技はいかなる地面でも行うことができる。
 - 10、()例外を除き、競技中にボールまたはビュットを替えてはならない。
 - 11、()コートの大きさは通常、幅4m、長さ15mである。
 - 12、()大会や競技会の運営上7点とか9点とか任意の得点もありうる。
 - 13、()大会や競技会の運営上5点からはじめ13点で終了した。
 - 14、()大会や競技会の運営上時間制を用いて、円滑に進行を進めても良い。
 - 15、()ペタンク競技は、公認コートがなくとも行うことができる。
 - 16、()決められた点数に達し、相手チームにボールがなく、手持ちボールがあった状態で終了となる。
 - 17、()ボールはどのような投げ方をしても良い。
 - 18、()ビュットを投げた人がボールを投げなければならない。
 - 19、()ペタンクはボールを交互に投げ、得点を競い合う競技である。
 - 20、()ボールを投げるときは、サークルの線を踏んだまま投げても良い。
 - 21、()プレーヤー(健常者)はボールを投げるときに片足を上げて投げても良い。
 - 22、()コートの制約がない場合、他の使用中のサークルから1m以上離なしてサークルを描く。
 - 23、()車椅子使用者は、サークルが車椅子の両車輪の中間にくるように、また足おきがサークルの先端に並ぶようにする。
 - 24、()下肢に障害のある人は、例外的にサークル内に片足だけを置いて、投げてもよい。
 - 25、()プレーヤーはボールを投げ、ボールが着地する前にサークルから足が出た場合はそのボールは無効となる。
 - 26、()投げたボールが、地上に落ちる前に、足がサークルから、一步に限り出ても良い。
 - 27、()バックスイングの途中でボールが手から離れ後ろにいった場合は、投球したと

見なさない。

- 29、()サークルの直径は、別に定めていない。両足が入るくらいの円が好ましい。
- 30、()指定されたコートが荒れていた所以对戦相手と相談し別のコートへ移り試合をした。
- 31、()時間制を用いた場合、ビュットが7mの位置でコートラインぎりぎりに落ちたので投げなおさなければならない。
- 32、()ビュットが規定の距離に投げられない場合、プレーヤーは先のメヌの競技進行ラインに沿ってさがることできる。ただし、規定の最長距離でビュットを投げることができる地点までで、それ以上はさがれない。
- 33、()同一チームが投げたビュットが、規定した条件を満たさないときは、3回まで繰り返し投げることが出来る。
- 34、()ビュットが規定の回数を超え相手に移った場合ボールも相手チームが投げる。
- 35、()ビュットが規定の距離に投げられない場合、プレーヤーは先のメヌの競技進行ラインに沿ってさがることできる。さがれる距離は別に決まっていない。
- 36、()投げたビュットは、サークルとの距離が18歳以上の場合6m以上、10m以内であるとき有効である。
- 37、()ビュットと1投目のボールを投げたあとは、ビュットに対しての抗議はできない。
- 38、()ビュットと1投目のボールを投げたあとでも、ビュットに対して抗議はでき、計測後、投げなおす場合もある。
- 39、()コートがない場合、ビュットがサークルから20m以上動いた場合有効である。
- 40、()プレーヤーは、競技コート内のいかなる障害となる物も取り除いたり、移動したり、踏み潰したりしてはならない。
- 41、()コートがない場合、ビュットはサークルから、30m以上動いた場合無効になる。
- 42、()ビュットが浮遊の状態になる水溜りに入ったので入る前の地点にマーキングしていたので戻した。
- 43、()ビュットが偶発的に動かされた場合、元の位置に戻なければならないが、ビュットの位置を示すマークを、地面につけることが必要である。
- 44、()メヌの途中でビュットが他の競技中のコート内に入った場合は全て無効である。
- 45、()メヌの途中で、ビュットが無効になった場合で、一方のチームにしかボールが残っていない場合、持ちボールの数が得点になる。
- 46、()プレーヤーが自分の持ちボール以外のボールを使った場合、警告を受ける。
- 47、()トリプレットで同じプレーヤーが3個目のボールを投げたのでそのボールは無効ボールとした。
- 48、()ボールに当って動いたビュットが、審判により止められた場合、その停止した位置を有効とする。
- 49、()サークルは、エンドラインから2メートル以上離れた位置に描くか置かなければならない。
- 50、()最初に投げられたボールが、エンドラインを超えた場合、次に相手チームが投げエンドラインを超えた場合にはボールを交互に投げる。
- 51、()コートに境界線がある場合、ビュットはその外側に投げても良い。

- 52、() 投げない相手チームのプレーヤーは、ビュットの向こう側で横方向(競技方向の延長線から2メートル以上)離れるか、後方にいなければならない。
- 53、() 競技中に自分の順番でない場合は、空いたコートで投球練習してもよい。
- 54、() 動いているボールを、故意に止めたプレーヤーは失格となる。
- 55、() プレーヤーは、計測後規定時間以内に投げなかったのが失格にした。
- 56、() 禁止区域に入ったボールは、直ちにすべて無効である。
無効となったボールは、コートにそのままにしても無効ボールである。
- 57、() プレーヤーは、計測後2分以内にボールを投げればよい。
- 58、() 禁止区域に入ったボールは、直ちにすべて無効である。
無効となったボールは、直ちにコートから取り除かなければならない。
- 59、() メーヌ終了前にプレーヤーは、ボールを拾い集めてはいけない。
- 60、() メーヌ終了後、計測前に点数に絡まないボールを拾い集めても良い。
- 61、() ビュットを投げたサークル以外のサークルから投げたボールは有効である。
- 62、() 各チームは必ず計測器具一つを所持していなければならない。
- 63、() 自分の歩幅がわかっているので、歩幅でサークルとビュットの計測を行っても良い。
- 64、() ポイントの測定は、最後にボールを投げたプレーヤーまたは同一チームの他のプレーヤーが行う。次に相手チームが測定する。また、測定の結果に異議あるときは、第3者の判定を仰ぐことができる。
- 65、() コンパスを使用して計測しても良い。
- 66、() ビュットと測定するボールの間にあるボールおよび障害物をあらかじめマークした後一時的に動かすことができる。
- 67、() 得点を計算する前に過ぎて動かしたマークのないボールも有効である。
- 68、() 審判が計測中にボールを過ぎて動かした場合、審判の判定に従わなければならない。
- 69、() 測定中のプレーヤーが、ビュットあるいは測定対象のボールを動かした場合、このプレーヤーの属するチームのポイントは無効になる。このとき相手チームに1点が与えられる。
- 70、() それぞれ別のチームに属する2つのボールが、ビュットから同じ距離にあり、両チームとも持ちボールが残っている場合は、最後にボールを投げたチームが、その次の第1球目を投げる。
- 71、() 何らかの都合でトリプルの試合でプレーヤー1名が遅れているため2名対3名で競技を開催しても良い。
- 72、() 何らかの都合でトリプルの試合でプレーヤー1名が遅れているため2名対3名で競技を開催しても良い。このときのボールは3個対2個の持ち方になる。
- 73、() 何らかの都合で試合に遅れてきたプレーヤーが到着した場合はすぐ試合に参加することができる。
- 74、() それぞれ別のチームに属する2つのボールが、ビュットから同じ距離にある場合、両チームともボールない場合は無効試合となる。
- 75、() メーヌが途中無効や引き分けになった場合は、改めてサークルを書き直す。
- 76、() メーヌの途中で他のチームで補欠としているプレーヤーと交替しても良い。

- 77、() 賞品を分け合うことも良い。
- 78、() 審判には競技規則が守られているか否かを監視する義務と責任が課せられる。審判は判定に従わないプレーヤーを失格させることができる。
- 79、() 相手チームのどのボールよりも、ビュットに近い自分のチームのボールがあるときは、近いボールの数だけ得点となる。
- 80、() メーヌ終了時にポイントがあったチームが、次のメーヌでビュットを投げる。
- 81、() 同一チームが投げたビュットが、規定した条件を満たさないときは、3回まで繰り返し投げることが出来る。
- 82、() 選手権大会及び国際大会 に使用するコートの最低寸法は、幅 4m、長さ 15mとする。
- 83、() 各国の連盟が下部団体にコートの最低サイズを変更することを認めることができる。但し、最低寸法が長さ 12m、幅 3m以下にならないことを条件とする。
- 84、() プレーヤーはビュットをマーキングしなければならない。
- 85、() 雨天時以外に、長靴を履いて大会に参加したら長靴はダメと言われた。
- 86、() 競技規則に記載されていませんが、プレーヤーがお互いに計測したり、ポイントを確認したりする行為を相互審判といっていますが、この行為はローカルルールである。
- 87、() トリプルスやダブルスで試合中にパートナーにアクシデントが発生し、離脱した場合はそのチームは負けとなる。

5)、次の各文はルールに関する問題です。()に数字を記入しなさい。

- ①、3名対3名で競技するとき、各プレーヤーの持ちボールは()個とする。
2名対2名では()個、1名対1名では()個とする。
- ②、競技はどちらのチームが、()点を先取するかで争われる。ただし、予選試合では()点とすることができる。
- ③、投げたビュットは、サークルとの距離が 15 歳以上の場合()m以上、()m以内であるとき有効である。
- ④ サークルを描く場合、直径は、()cm以上、()cm以下とする。
- ⑤ ポータブルサークルを使う場合は、硬い材質でなければならず、その内径は()cm(誤差± mm)とする
- ⑥、不正ボールに対しての抗議はメールとメールの間とし、第3メール以降根拠のない抗議として却下された場合は相手チームに()点加算される。
- ⑦、公認ボールの直径は()cmから()cmまで。(11歳以下は除く)
公認ボールの重さは()gから()gまで。

⑧、ビュットは直径()mm許容範囲は(±)mmまで。
重さは()g以上()g以下でなければならない。

⑨、対戦順番の発表が終わってからは()分後にコートにいないチームはペナルティ
ーとして相手チームに1点が加点される。それ以後遅れると()分毎にペナルティ
ーとして1点ずつ加点される。対戦順番決定の発表後、1時間経過してもコートにあらわ
れないチームは不戦敗となる。

⑩、大会にあたる審判委員は()名以上()名以内で構成される。

6)、次の()にあてはまる言葉を下記欄より選び、競技規則の第35条の罰則を完成
して下さい。

この規則を守らない選手には()が適用される。

(1)警告。

(2)()に投げたボール、又はこれから投げるボール()の取消し。

(3)メーヌの違反した選手の()メーヌ停止。

(4)試合に違反した()のその試合の停止。

(5)違反チームの出場資格の取り消し。

(6)共謀した場合は、両チームの出場資格の()。

罰則、失格、退場処分、最後、最初、一個、全部、1、全、全選手、
選手、永久剥奪、取消し

7)、下記の文で正しいものに○印、誤りのあるものには×印を()に記入しなさい。

メーヌの途中で、ビュットが無効となった場合は、次の3通りの1つを適用する。

()それぞれのチームに競技するボールが残っている場合、このメーヌは無効となる。

()一方のチームにしか競技するボールが残っていない場合このチームの残りボール
の数が得点となる。

()2つのチームどちらにもボールが残っていない場合、このメーヌは無効となる。

8)、第35条の罰則で提示される罰則カードの色は何色ですか。()に記入しなさい。

1 この規則を守らない選手には罰則が適用される。

(1) 警告:()。

投球時間の違反に対する()は、違反した選手のチーム全選
手にも適用される。既に()を受けている選手は、そのメーヌで
1球無効とされる。

もし投げるボールがない場合、次のメーヌで投げるボールを1球無効とされる。

(2)投げたボール、又はこれから投げるボールの無効:()。

(3)違反した選手のその試合における出場停止:()。

9)、投球の順番を簡単に説明しなさい。

10)、次の用語を説明してください。

①、ミリュー

②、ポワンテ

③、カロ

④、プセット

⑤、ビブロン

⑥、ドネ

⑦、メーヌ

⑧、ソテ

⑨、フラッペ

⑩、ポイント

11)、次の投球方法を簡単に説明しなさい。(必要に応じて図を用いてもよい。)

①、ティール

② ルーレット

③ ドゥミ・ポルテ

④、ポルテ